

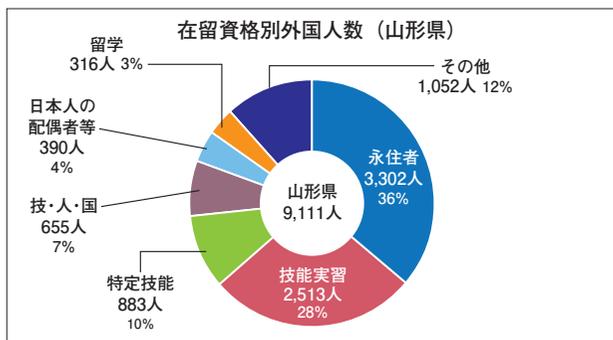


山形県の多文化共生に向けた取り組みについて

山形県みらい企画創造部国際人材活躍・コンベンション誘致推進課

山形県の現状

山形県の県内在住外国人数は、2023年12月末時点で9,111人となり、前年に続き最多を更新しました。国籍別ではベトナムが2,677人で最も多く、全体の約3割を占めています。在留資格別では、「永住者」が3,302人で最も多いものの、近年の傾向として、「技能実習」や「特定技能」の在留資格が増えてきており、本県で働く外国人労働者数は、2023年10月末時点で過去最高の5,743人となりました。



県内のあらゆる産業分野において人手不足が深刻化するなか、地域の活力を持続させるためには、今後、より一層外国人を受け入れ、定着を促していくことが求められています。このため、労働環境の改善などの事業所における取り組みと併せ、地域においても外国人を社会を構成する一員として受け入れていくという視点に立って、外国人が安心して暮らせる環境整備を進めていくことが重要です。

このため本県では、2024年度に、日本人も外国人も互いを認め合い、地域を構成する一員として共に活躍できる「多文化共生社会」の実現に向けたアクションプランとなる「山形県多文化共生推進プラン（仮称）」を策定する予定です。策定に当たっては、「①国際交流及び国際協力を推進する」「②外国人材の受入拡大及び定着を促進する」「③外国人が安心して暮らせる環境整備を促進する」「④日本人と外国人との相互理解を促進する」

という4つの観点から、共生社会の実現に必要な施策の検討を進めています。

これらの観点から、本プラン策定に先駆けて取り組んでいる「国際協力活動推進事業」「在住外国人魅力体験バスツアー」の2つの事業について紹介します。

国際協力活動推進事業

戦前から、国策に基づき南米などの海外に移住した人々により構成される山形県人会は、長らく本県と現地の友好親善の進展に大きな役割を果たしてきましたが、会員の高齢化が進み、活動を支える後継者の確保が課題となっています。

このため本事業では、県人会の将来を担う若い世代を対象に、日本および本県に関心を持ち続けてもらうために、南米の山形県人会から推薦された人を研修員として本県に受け入れています。2024年度は7月下旬から10月中旬の約3カ月間、ブラジルから1人、ペルーから1人が来県し、それぞれが日本語の研修や本県農業に関する技術研修に取り組みました。



専門学校 山形Vカレッジで日本語を学習する様子

新型コロナウイルス感染症の流行前は技術研修をメインに受け入れてきましたが、2024年度は、より本県への理解を深めてもらうため、研修の合間に山形花笠まつりに参加したほか、芋煮づくりの交流ワークショップを



開催するなど、県内の若い世代と直に交流する機会も持ちました。加えて、ホームステイや県内企業などの見学、自身のルーツを探る観光地視察など、ふるさと「山形」に対する興味や関心を高めてもらう機会の充実を図っています。



県農業総合研究センターで技術研修に取り組む様子

研修員の2人には、母国に帰国した後でも、本県で得られた知識や技術を生かして大いに活躍することを期待するとともに、本県と現地との交流促進の懸け橋となつて、継続した信頼関係の構築と新たな交流に協力いただきたいと考えています。

在住外国人魅力体験バスツアー

本事業は、県内在住外国人に、本県の魅力をさまざまな観点から感じてもらい、本県のファンになってもらうこと、そして、外国人目線で本県の魅力を国内外へ発信してもらい、本県の認知度向上を図ることを目的としています。

2024年6月に実施したツアーでは、本県の主要な観光地である月山や慈恩寺を訪れたほか、さくらんぼ狩りや将棋の書き駒作成を体験しました。



将棋の書き駒体験の様子

参加した在住外国人の参加者からは、「さくらんぼがとてもおいしかった」「月山からの景色がとても綺麗だった」「またツアーに参加したい」など、本県の魅力を十分に感じたという意見があったほか、今回訪れることができなかった観光地にも行きたいという声も多く挙がり、ツアーを通して本県への興味・関心を高めることができたと感じています。また、参加者が撮影した写真やツアーを通して感じたことなどをSNSで発信し、国内外の多くの人に魅力が伝えられたと考えています。

今後も、本県をより多くの人に知ってもらうため、引き続き本事業を通じた魅力の発信に努めていきたいと考えています。

Discover Yamagata 2024
ENJOY EARLY SUMMER IN YAMAGATA! No.1
2024.6/29 Sat **参加無料** (バス乗車地)酒田駅・鶴岡駅 または庄内バスターミナル

7:45頃 酒田駅	8:30頃 鶴岡駅又は庄内バスターミナル	鶴岡IC—高遠道—月山IC
① 月山(リフト利用) 夏に雪を見ることが出来る山	② ひなの隠れ家 慈恩寺陣屋 陣屋跡の昼食と見学	③ 天童市内果樹園 (さくらんぼ狩り) 30分食べ放題
④ 将棋むら天童タワー (書き駒体験) 好きな文字を書いて 駒り駒を制作	18:20頃 鶴岡駅又は庄内バスターミナル	19:05頃 酒田駅

以下①～⑥の全てに当てはまる人
 ① 山形県に来てから5年以内の外国籍の人
 ② 山形県内に住んでいて働いている人
 ③ 在留資格が【就労可】の人 ※留学生は参加不可
 ④ ツアーの様子をSNS等で発信してくれる人
 ⑤ ツアーについてのアンケートに答えてくれる人
 ⑥ 新聞やテレビ等に旅を出すことができる人

申込み
 ① 右の2次元コードを読み取ってください。
 ② 必要な情報をメールに記入してください。
 ③ 在留カードの写真もメールで送ってください。
 ※ツアーに参加する人が、自分で申込みをしてください。

参加人数 20名 参加費とバスガイド 各1名
 ※雨天時は月山に代替バス、雨天時バスや電車乗車案内などを提供する予定、それ以外は雨天時も観光可能。

バスツアーのチラシ (2024年6月)

おわりに

山形県は、全国的に見ても人口に占める外国人の割合が低く、外国人にとって知名度が高くはありませんが、縁あって山形に来てくださった外国人を歓迎し、交流することで、山形の良さを知ってもらい、地域の一員として定着いただくとともに、母国との懸け橋になっていただけよう、多文化共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。